

**製品名: インスリン R ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12637**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス、その他
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	155kDa

**抗原情報**

遺伝子名	INSR
別名	INSR; Insulin receptor; IR; CD antigen CD220
遺伝子 ID	3643.0
SwissProt ID	P06213
免疫原	抗血清はヒト IR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1326-1375

**背景**

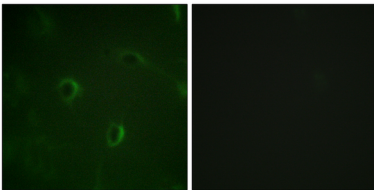
この受容体はインスリン様成長因子 (IGF) と高い親和性で結合する。チロシンキナーゼ活性を有する。IGF I 受容体は形質転換において重要な役割を果たしている。前駆体の切断により  $\alpha$  サブユニットと  $\beta$  サブユニットが生成される。ほとんどの悪性組織で過剰発現

しており、細胞生存を促進することで抗アポトーシス剤として機能している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2014年5月]

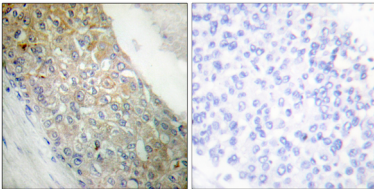
## 研究分野

アクチンダイナミクスの制御; インスリン受容体; AMPK; 接着結合

## 画像データ



IR 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



IR 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。